科目	内部障害理学療法学実習	担当	林　久恵	履修学年	3年
時間数：90分×時限×16回（週1回）			履修区分：必修	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】
内部障害理学療法学実習では、安静時のバイタルサイン、動作時の呼吸循環応答や末梢循環障害のみかたに関する基本技術を習得し、内部障害患者に対する理学療法について学修する。内部障害患者に対し、問題点抽出のための検査・測定の実施からプログラムの立案まで、一連の過程を実施できることを目標とする。
【履修注意】
前期に使用したノートおよびレジュメを綴じ込むファイルを持参してください。
実習を主体に進めていきます。Tシャツと短パンなどの動きやすい服装で参加してください。

【評価方法】
実技試験、Quiz、提出物、出欠などを総合的に評価する。グループワーク・発表準備状況も考慮する。
【試験について】
再試験対象者の条件： 8割以上実習に出席していること。
【予習・復習】
本実習では、各種内部障害を捉える際に必要となる基礎技術の練習を行いますが、正常な機能（循環・呼吸・代謝）や検査結果の正常値については説明を省略しますので、必ず予習（90分以上）をしてから受講してください。
【教科書】
書籍名：理学療法フィールドノート3　　著者：石川 朗、内山 靖、新田 收（編集）出版社：南江堂
書籍名：内部障害理学療法学テキスト　著者：山﨑裕司、川俣幹雄、丸岡弘（編集）出版社：南江堂【購入済】
書籍名：理学療法士のためのコンディショニング入門　著者：高橋仁美、諸橋勇（編集）　出版社：中山書店【購入済】

【参考書】
書籍名：バイタルサインからの臨床診断　　著者：宮城征四郎（編集）　　出版社：羊土社
書籍名：足病変ケアマニュアル　　著者：上村哲司（編集）　　出版社：学研メディカル秀潤社
書籍名：動画でわかる 呼吸リハビリテーション第3版　著者：高橋仁美 他（編集）　出版社：中山書店

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1・2	フィジカルアセスメント、各種モニタのみかた、離床時の呼吸・循環応答	意識レベル、循環・呼吸状態のみかた、疼痛・精神機能・運動機能のみかた、心電図モニタ、呼吸器モニタ、中心静脈血圧・心拍出量モニタのみかた離床時・体位変換時の注意事項、異常な反応が確認された時の対応
3・4	呼吸機能のみかた	呼吸機能の評価法，喀痰吸引実習（シミュレーター使用）
5・6	血管機能のみかた	下肢動脈・静脈の機能評価法・所見の記録と解釈
7・8	聴診・血糖測定	聴診所見の記録と解釈運動前後での血糖測定、食事・運動内容の違いによる血糖変化の解釈
9・10	運動負荷試験．問題点抽出の思考過程	各種運動負荷試験、データ処理と解釈、発表症例提示　レジュメを使用して発表（グループワーク）
11・12	症例検討①②	心疾患、糖尿病性末梢神経障害や細小血管障害に起因する足病変、腎不全・人工透析患者の理学療法プログラム立案
13・14	症例検討③．筆記試験	呼吸器疾患患者の理学療法プログラム立案（グループワーク）
15・16	定期試験	実技試験